



“SINRAI Project”

JICA 社会保険実施能力強化プロジェクト



ХОДЛОМОР,
НИЙГМИЙН ХАМГААЛЫН ЯАМ



ニュースレター第19号 2018年1月



医療・社会保険事務所業務改善発表会の開催

表彰式の様子



12月4日、医療・社会保険庁において、5カ所の医療・社会保険事務所（ウブルハンガイ県、オルホン県、ウランバートル市バガノール区、スフバートル県、オブス県）から業務改善の取組みの発表・表彰が行われました。

各医療・社会保険事務所からは、サービス室長他1名の計2名の職員が出席し、これまでの業務改善の取組みについて、丁寧に説明が行われ、出席者からも多くの質問や意見が出されました。また、モンゴルを訪問中である菅谷接遇向上短期専門家からは、予算をかけずとも行える業務改善のアイデアが多く出たことに対して驚いたというコメントをいただいたほか、今後一層、お客様を第一にした事務所のサービスを向上するためのアドバイスがなされました。今後、これらの取組みがより多くの医療・社会保険事務所に広がり、医療・社会保険事務所のお客様サービスがより向上することが期待されます。



業務改善取組発表の様子

研修を行う大西短期専門家



研修講師養成講座の開催

医療・社会保険庁の職員に対し、体系的な研修体制構築、及び研修講師養成の短期専門家である大西専門家より、研修講師養成に関する研修が行われました。研修

では、社会保障制度の意義や成り立ちについて講義が行



研修の様子

われたほか、研修講師としての心構えや準備の仕方などについて説明がありました。今後、医

療・社会保険庁内で実施される研修制度の詳細な内容について議論を行い、講義を受けた研修生が、所属する職場で行う講義に、可能な限り立ち会い、助言を行う予定です。

労働・社会保障省管理職研修の開催



発言をする研修参加者

12月5日、労働・社会保障省及び関係機関の幹部職員を対象に、菅谷短期専門家によるお客様サービスを第一に考える組織作りに関する管

理職研修が行われました。研修は、行政・組織文化の向上をテーマとして、組織の活性化を目的としたコミュニケーションのプロセスについて学んだほか、演習を交えながら実践的な内容で行われました。研修に参加した皆さんには積極的に参加していただき、非常に実りのあるものとなりました。

この研修をきっかけに、今後、モンゴルにおける行政機関における職員間のコミュニケーションがより良くなることを期待しています。



修了証をウルバル事務次官に手交する菅谷短期専門家

連載：草原の国の社会保障（第 19 話） “健康保険の無い国”

皆さま、こんにちは。今回は、「健康保険がない国」の状況について、お伝えします。

健康保険がないため、毎月保険料を支払う必要はありません。しかし、自分や子どもたちなど家族が、病気やケガをした場合のことを考え、蓄えを用意しないとできません。子どもが小さければ、その懸念は増々大きくなるでしょう。

万が一、子どもが夜中に高い熱を出したとしましょう。開いている病院が見つかったとしても、最初に聞かれることは、子どもの症状ではなく、「お金を持っていますか」です。病院も慈善事業ではありませんので、当然です。病院にとって、患者が治療費を支払えるかどうかはとっても大切です。では、もし、お金を持っていないらばどうなるのでしょうか。そのことを正直に伝えれば、「別の病院に連絡してください」と言われるでしょう。こうして診療費を支払うお金のない家族は、医師に診察をしてもらえず、衰弱する子どもが回復することを祈るしかないのです。

今の例は、都市部に住む家庭を例にしました。では、もし、田舎であればどうなるのでしょうか。田舎には医療機関はありません。そもそも人口が少ないため、医師が駐在していないのです。このため、家族が病気になった場合、何時間もかけて都市部の病院へ行く必要があります。

健康保険がない国。この状況は、実は昔の日本の実態を紹介したものです。日本も 60 年前は、このような実態でした。

あらためて健康保険についてお伝えします。健康保険とは、病気である患者だけでなく、健康な人も含めて国民全員から保険料を徴収し、その資金で病気になった患者の治療費を支援する仕組みです。つまり、これまで患者さんの診療費だけを頼りにしていた医師からすると、健康な人の資金も活用して、病気になっている人の治療ができるのです。これによって、医療の質は格段に向上しました。さらに、健康保険によって田舎にも診療所ができたのです。

豊かな国と見られがちな日本ですが、たった 60 年前は、お金がなくて医師に診てもらえない国民がたくさん住んでいた貧しい国だったのですよ。

JICA チーフアドバイザー 山下 護

JCC/Joint Coordination Committee/・ プロジェクト合同調整委員会の開催

12 月 13 日、SINRAI プロジェクトの合同調整会議が労働・社会保障省にて行われました。議長であるムンフゾル労働・社会保障省政策・企画局長やサラン医療・社会保障庁副長官をはじめとするモンゴル側関係者や佐藤 JICA モンゴル事務所長やプロジェクトメンバーからなる日本側、オブザーバーとして日本大使館の穂積書記官、モンゴルに来訪中の大西短期専門家が参加しました。



2017 年後半の活動について評価が行われたほか、2018 年の活動計画について協議をし、承認を行いました。また、プ

ロジェクトが開始されてから 1 年半程の間で、どのような変化、成果があったかという観点から、年金制度の改正についてバトジャルガル労働・社会保障省社会保障政策実施調整局社会保険課長から、年金実務の改善についてサラン医療・社会保障庁副長官からそれぞれ報告がありました。

SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル医療・社会保障庁内
6 階 602 号室 電話 (FAX) 番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

